



令和4年度 学校だより 2月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

厳しい寒さの中、力を蓄え春を待つ

副校長 佐々木 唯吉

大寒を過ぎ、寒さが一段と厳しくなってきました。1月25日には、校庭のひょうたん池に氷が張りました。まだしばらくは気温の低い日が続きそうです。子どもたちが登校してくる時間には、じっとしていると手や足の先の感覚が無くなるほど強い冷え込みの日もあります。

そのような寒空の下でも、子どもたちが安全に登校できるように、毎朝、学援隊の方々が見守り活動をしてくださっています。立ってくださる場所によっては日が当たらず、ずっと日陰になっているところもあります。子どもたちが、安全に通学できているのは、こうした学援隊の方々をはじめ、安全サポーター、保護者、地域の方々のご協力のおかげだと強く感じます。心より感謝申し上げます。



さて、2月は暦の上では立春を迎え、春が始まる月ですが一年の中で最も寒い時期でもあります。そのような季節に寒さに耐え、他の植物よりも一足先に花を咲かせて春の訪れを感じさせてくれるのが梅の木です。本校の児童が全校遠足で出かける保土ヶ谷公園の梅園では、早咲きの八重寒紅梅という品種が既に咲き始めていました。

梅の木は別名、好文木(こうぶんぼく)ともいわれるそうです。古代中国の晋の武帝が学問に励むと花が開き、怠ると開かなかったという故事から、梅の木が「学問を好む木」と呼ばれるようになったという説があります。また、学問の神様として親しまれている菅原道真公が好んだ花としても知られており、全国各地にある天満宮には梅の木が植えられているそうです。

岩崎小学校にも、正門から入って右奥に梅の木があります。こちらの梅は、まだ開花していませんが、小さなつぼみをたくさん見つけることができました。よく見ると枝先が赤く色づき始めているのが分かります。寒さにじっと耐えて、開花のための準備をしているようです。もうしばらくすると凍とした赤い花を咲かせ、子どもたちに春の訪れを伝えてくれることと思います。



子どもたちの登校日は残り35日ほどになりました。

【保土ヶ谷公園の梅園：1月20日に撮影】

今の学年、学級で勉強できる日が少しずつ短くなっていくのを実感できるようになってきました。寒さの中、子どもたちもつぼみをつける時期だと思えます。今まで学んだことを自分の中に蓄え、次の学年で美しい花を咲かせることができるよう、根気強く力を蓄える時期です。一年間のまとめとして、勉強も遊びも、春になって進学・進級したら大きな力を発揮できるように、支援してまいります。